



幼稚園だより 2月号

令和7年1月31日

中央区立豊海幼稚園 03 (3533) 0725

H P <http://www.chuo-uky.ed.jp/~toyomi-kg/>

教育目標

- げんきな子
- やさしい子
- がんばれる子

<豊かな感性と表現>

園長 山口 晃司

2月、如月（きさらぎ）になりました。国立国会図書館のホームページによると「まだ寒さが残っていて、衣を重ね着する（更に着る）月」と書かれています。この先も寒さの厳しい日が続くのだろーと思ひます。一方、園内の自然に目を向けると、冬芽が膨らんできていることを発見したり、玄関先の蟠梅（ロウバイ）がいつの間にか咲いていたことに気付いたり、春の足音が聞こえてきます。つい先日、3学期が始まったように感じますが、年度末は時間の流れは早く、毎日があっという間に過ぎ去ることを実感しています。

ちょうど今現在、2学期末に回答いただいた保護者アンケートの集計が終り、次年度の教育課程に反映させ、教育計画を作成している最中です。アンケート結果（園評価）につきましては、学校評議員会・外部評価委員会にお示しし、ご意見を伺ひます。そして保護者会でお話しさせていただきます。重点目標についての結果の一部をこの紙面でもお伝えします

重点目標1「身近な自然との関わりを通して、幼児の知的好奇心を育む」の評価指標(1)『園内外の身近な自然に触れ、自然への気付きや事象について関心を持ち、遊びや生活を楽しんでいる』

は「A:十分達成している B:達成している」を合わせると97.0%の値でした。評価指標(2)『直接体験を通して、四季を感じたり、自然の不思議さや面白さ、また命を感じたりしている』も「A:十分達成している B:達成している」を合わせると97.9%の値でした。今年度は、保育実践の工夫を図り、研究発表会で本園の教育内容を区内外に発信させていただきました。それらを保護者の皆様にも、ルクミー等で画像を交えて積極的に発信してきたことが、今回の数値に現れていると捉えています。アンケートのご協力ありがとうございました。幼児にとっての教育の充実を引き続き図っていきたいと思ひます。

さて、2月は、子どもたちの劇遊びの発表をする「子ども会」があります。各学年とも、身近な絵本や自分たちの遊びや生活を基にした話を題材として、動物や昆虫などの生き物になりきって動いたり、友達とアイデアを出し合い、担任と共に創作して劇遊びを進めたりしています。役に応じて話し方や動き方を工夫したり、必要な大道具や小道具、衣装などを身近な素材や遊具を使って作ったりするなどしています。表現すること自体を楽しむと共に、友達と一緒に工夫し、新たな考えが生み出されるなど、より多様に表現できるようになっていく過程を楽しんでいます。幼児期の表現活動は、セリフや動き等決まっていることを覚えて、それを行うのではなく、一人ひとりの子どもたちが、様々な表現することを楽しみ、イメージやアイデアを出しながら、友達と認め合ったり、新たな表現を考えたりして楽しむことが大切です。こうした経験が、小学校以降の学習の基盤になっていきます。年長組にとっては、園生活最後となる発表会です。年少組にとっては、初めての劇遊びの発表です。ぜひ、子どもたちと一緒に子ども会を楽しみ、親子のコミュニケーションをたくさんしてほしいです。

<各学年のねらいと主な活動>

年少組	年中組	年長組
○生活の中で次にすることが分かり、自分でやってみようとする。 ○同じようなイメージをもち、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ○学級の人々と一緒に自分なりに伸び伸びと表現することを楽しむ。 主な活動 ・表現遊び ・的当て ・鬼遊び ・フルーツバスケット ・雛人形作り ・歌「ゆげのあさ」	○友達に自分の思いや考えを伝えながら、遊びや生活を進めていこうとする。 ○役になりきって動いたり友達と動きや言葉を合わせたりして、劇遊びを楽しむ。 主な活動 ・劇遊び ・中当て ・雛人形作り ・当番活動の引き継ぎ ・お別れ会に向けた活動 ・リズム「タタロチカ」 ・歌「にんげんっていいな」	○修了までの見通しをもち、自分たちで生活を進めたり、積極的に課題に取り組んだりする。 ○遊びや生活の中で互いの成長を感じながら、友達とのつながりを深める。 ○共通のイメージの中で学級やグループの友達と考えを出し合い、役になりきったり自分の力を発揮したりして、やり遂げた達成感を味わう。 主な活動 ・劇遊び ・短縄 ・鬼遊び ・雛人形作り ・当番活動の引き継ぎ ・修了に向けての歌と言葉

